

インプラント Q&A

Q インプラントは何年ぐらいもちますか？

A インプラントは、日常のメンテナンスがとても大切です。お口の中の衛生状態がよければ10年以上、なかには30年以上問題なく機能している患者さんもたくさんおられます。

Q インプラント治療を受ける場合、年齢制限はありますか？

A 一般的に骨の発育が完成する20歳前後から可能です。上限は特にありません。

Q インプラントの治療費はどれくらいですか？

A インプラントの治療費は健康保険が適用されない自由診療です。使用するインプラントの本数や設計によって異なりますので、担当医までご相談ください。

ポイント

インプラント治療費は医療費控除制度の対象になります。

年間10万円以上支払った場合、確定申告をすることで所得税の一部が戻り、治療費の総額をおさえることができます。詳細は税務署等でご相談ください。

Q 治療中、歯の無い期間はどれくらいですか？

A 手術後、1～2週間は傷口の保護期間を設けますが、その後、仮義歯をセットできます。症例によっては当日に仮義歯を装着できる場合もあります。

Q 喫煙者でもインプラント治療は受けられますか？

A 喫煙が血管収縮、血流阻害、白血球の機能障害の原因になることは知られており、インプラント治療にも悪影響を及ぼすことが予想されます。

喫煙者でもインプラント治療は受けられますが、手術前後は禁煙し、継続されることが理想です。

治療の流れ

1 コンサルティング・診査診断

インプラント治療に関する費用、治療の流れと期間、注意点などを詳しくご説明します。さらに安全にインプラント治療を行えるように十分な精密検査を行います。

2 一次手術

インプラント体をあごの骨に埋入します。手術は一般的に局所麻酔を行い、痛みの心配はほとんどありません。手術時間は約1～2時間です。

3 抜糸

一次手術の10日から2週間後、歯肉が治癒しますので、抜糸を行います。

4 治癒期間

3～6ヶ月間インプラント体に力が加わらないようにし、骨との結合を待ちます。

5 二次手術

インプラント体と骨が結合したら、人工歯を取り付けるための歯肉の手術を行います。(ケースによっては、この手術を行わない場合があります)

6 歯型を取り、人工の歯を製作

二次手術後の10日から2週間後、歯肉が治癒しますので歯型を取り、人工の歯を作製する工程に入ります。

7 完成した歯の装着

作製した歯をお口の中にセットします。その後は、定期的に検診を行い、インプラントと天然歯が長持ちするようメンテナンスをします。

ご存知ですか？

インプラントは、特別な治療ではありません。



**IMPLANT
DIRECT™**
SIMPLY SMARTER

このような患者様へ

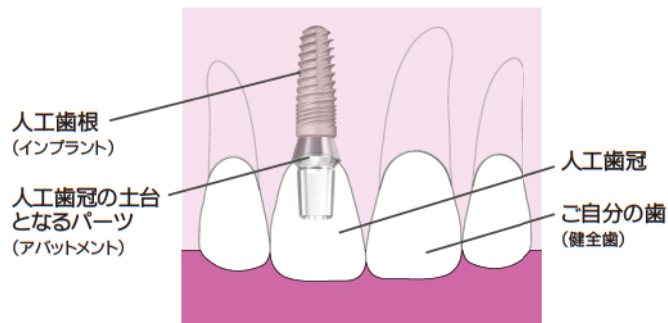
- 欠損した歯が多く、ブリッジでは治療できない方
- 部分入れ歯では機能の回復が得られない方（噛む力を支えられない等）
- 入れ歯を装着することが心理的に苦痛な方
- 無歯顎症例（歯が1本もなくなった方）

インプラントの材質

現在、世界で使用されているインプラントの大半はチタン製です。なかにはそのチタンの表面にハイドロキシアパタイト（HA）をコーティングしたものもあります。いずれの材料も、骨へ強固に結合し、人工の歯根として機能します。また、チタン、HAともに骨や歯肉との相性（生体親和性）が良いということは、長年の研究で証明されています。

インプラントの構造

天然の歯は、あごの骨の中の歯根と言われる部分に支えられています。もし歯を失った場合、ブリッジや入れ歯による治療では、歯根が無い状態での修復となります。インプラント治療では、まずインプラント（人工歯根）を骨に固定し、その上に歯の土台となるパーツ（アバットメント）を連結し、人工の歯を被せて修復します。歯根がある構造のため、周りの歯に負担をかけず、見た目も天然の歯とほとんど変わりません。



他の治療法との違い

1 歯が途中で1本抜けた場合

ブリッジ

抜けた歯の両隣の天然歯を削って人工の歯（ブリッジ）を被せる方法です。両隣が健康な天然歯であっても、削ることになります。



インプラントで治療すると

インプラントは隣の健康な歯を削ることなく植立し、人工歯を取り付けます。自分の歯と区別がつかないくらいに自然な状態となります。



2 歯が途中で2本抜けた場合

ブリッジ

抜けた2本の歯の部分に加わる大きな力を支えるため、数本の健康な歯を削り、ブリッジにします。支える健康な歯には、大きな負担になります。



インプラントで治療すると

抜けた数だけのインプラントを植立できます。インプラントはあごの骨にしっかりと固定されるので強い力で噛むことができ、他の歯に影響を与えません。



3 奥歯が数本抜けた場合

局部床義歯＝部分入れ歯

取外しの入れ歯を作り、バーを左右に渡して固定します。さらに、止め金でも固定しますが、口の中のバーや止め金には異物感が伴い、口臭の原因にもなります。



インプラントで治療すると

数本のインプラントを植立し、インプラント同士を連結します。入れ歯を固定するバーや、留め具が不要となり、お口の中もすっきりとします。



4 歯が全部抜けた場合

全部床義歯＝総入れ歯

全部に床のついた入れ歯を装着します。あごの骨が退縮すると入れ歯が不安定になりやすくなります。



インプラントで治療すると

複数のインプラントを支台として入れ歯を固定します。入れ歯が安定するので、口の中で動いたり、笑ったときに飛び出したりすることを防止します。



※図はイメージです。